KOBE
CITY of DESIGN

神戸の山城を描く
―城郭と合戦の戦国時代史―

2025年
7/19【土】
▶▶▶ 8/31【日】
Kobe Archaeological Resource Center

三木合戦軍図／中幅 部分（法界寺蔵）

東寺百合文書／「安井宗運書状」
京都府立京都学・歴彩館 東寺百合文書 WEB から

端谷城跡出土　鬼瓦

兵庫津遺跡出土　長足五輪塔

「三好長慶像」
（京都大学付属図書館蔵）

三木合戦軍図／右幅 部分（法界寺蔵）

神戸市埋蔵文化財センター
2025年度　夏季企画展

◆開館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
◆休館日／毎週月曜日、7月22日、8月12日
（7月21日、8月11日は開館）
◆入館料／無料

Drawing the ... castle of Kobe

「武功」か、それとも蛮行かー

天正五年、十月。織田信長麾下の武将、羽柴秀吉が播磨姫路城に着陣しました。その後約二年にわたる播磨侵攻、いわゆる「秀吉の播磨攻め」の幕開けです。

西国の雄・毛利輝元と安土に政権を置く織田勢力との狭間に立たされた播磨の国人領主たちは、一度は信長に服従しますが、やがて毛利と通じ、摂津の荒木村重や本願寺顕如とともに、反信長共同戦線を築きます。織田方の総大将は秀吉、秀吉配下には、同じ播磨国衆である稀代の戦上　手・黒田官兵衛。強大な信長軍と対峙した播磨国衆は、齢二十余歳の名門 別所長治を中心に、存亡をかけた壮絶な戦いを繰り広げました。

後世軍記物語では、勝者である秀吉の「武功」と語られる播磨攻めの戦場は「山城」という形で神戸にも多く残されており、ふるさとに生きた国衆たちの一期の記憶を今に留めています。そのありし日の姿を、発掘調査の成果や絵画・文献史料、唱導文学など、さまざまな視点から描きます。

丹生山明要寺参詣曼荼羅図（丹生神社蔵）

※本展覧会では、考古資料以外の資料については、パネルまたは複製展示といたします。

山城模型と想像復元図がやってくる！

今回の展示にあわせて、城郭研究家　木内内則（きうちただのり）さん制作の山城想像復元図と、触って楽しめる山城模型が神戸市埋蔵文化財センターにやって来ます。メジャー１本と鉛筆と紙さえあれば、あなたも城郭研究家になれるかも？

木内式山城学の世界を、この機会にぜひご堪能ください！

交通アクセス

西神中央駅より南へ徒歩約 8 分、西神中央公園内
神戸方面から：地下鉄で三宮～西神中央（約 30 分）
明石方面から：バスで明石～西神中央（約 35 分）

会場周辺地図

天正七年　羽柴秀吉制札
（淡河本町自治会蔵）

Heritage for the future 神戸歴史遺産

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

神戸市埋蔵文化財センター
Kobe Archaeological Center

〒651-2273　神戸市西区糀台 6 丁目 1　西神中央公園内
TEL：078-992-0656　FAX：078-992-5201